

## 阪大石綿汚染 改善策を検討

工学部教室運営委  
大阪大学工学部環境工学科  
研究棟の石綿(アスベスト)に

よる室内汚染問題で、同学部は五日、教室運営委員会を開き、汚染防止など同研究棟改善に取り組むことを決めた。六階建ての同研究棟は一、三、五階の計二十二室と廊下に石綿が吹き付けられているが、その一部がはく離して室内を汚染。昨年暮れごろから研究者、学生が「このままはく離を放置しておくと将来、健康被害が出る可能性もある」と訴えていた。この日の委員会では「予算面もありすぐには除去できない」としながらも「有害性が明らかならものを漫然と放置できない。適切なシールド(封じ込め)方法を

などに取り組むべき」と結論。同学部事務局に改善策を検討するよう申し入れる。

石綿が使用された教育・研究施設は全国にかなり多いといわれ、同大の改善策が具体化すれば、全国的な石綿見直しにつながる」と専門家は評価している。